



- ・地域一丸で豚コレラの侵入を阻止しよう！ 1
- ・平成31年4月1日より死亡牛のBSE検査対象月齢が変わります 2
- ・定期報告書の提出をお願いします 2
- ・母国語とイラストで確実に伝えよう。岩手の畜産を守るために！ 3
（農場管理者のための家畜の飼養衛生管理基準遵守事項多言語リーフレットの作成）
- ・埋却作業の具体を議論！ 3
- ・岩手県北家畜衛生協議会からのお知らせ！！ 4

地域一丸で豚コレラの侵入を阻止しよう！

国内で26年ぶりの豚コレラは、2月21日現在、1府4県に拡大しました。牛豚等疾病小委員会の判断により、愛知県では発生農場（8例目）が存在する養豚団地14施設と関連2施設も疑似患畜として防疫措置を行うことが適当とされ、1万7千頭以上の殺処分が行われました。

また、一般車輛も消毒の対象とされ、2010年の宮崎県での口蹄疫を髣髴させる非常事態となっています。

ウイルスの侵入経路や要因として、いのしし、車輛、豚の移動などが指摘されていますが、まだ、明確にはされていません。

県北の養豚産業を守るため地域一丸となって、豚コレラの侵入を防止しましょう。

豚コレラの侵入を阻止するため、常に点検しましょう！

- 飼養衛生管理区域の立入制限は徹底されていますか
- 車輛消毒は徹底されていますか
- 野生動物の侵入対策は確実ですか
- 農場に出入りする者の記録はありますか

有事の際に備え

- 家畜防疫互助事業へ加入しよう！
- 埋却候補地の状況を確認しましょう！

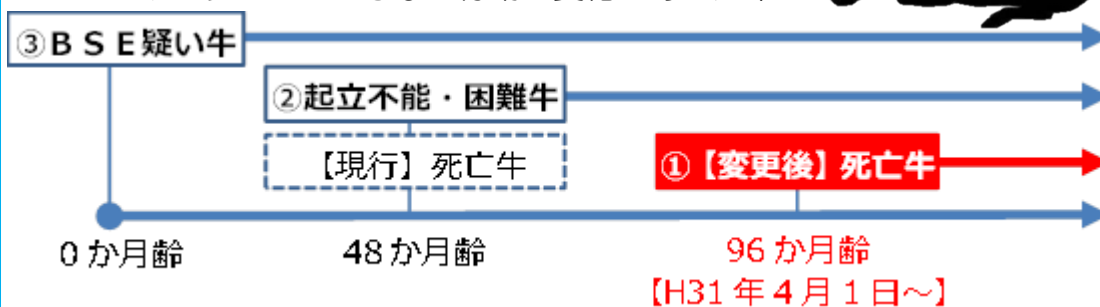


平成31年4月1日より 死亡牛のBSE検査対象月齢が変わります

《検査対象月齢》

- ① **96か月齢以上**の死亡牛（現行は48か月齢以上）
- ② **48か月齢以上の起立不能・歩行困難**を示した死亡牛
- ③ 全月齢のBSEを疑う症状のある死亡牛

例：興奮や凶暴、音・光・接触刺激に敏感、
ポーッとしているなど行動に変化があった牛



②、③の対象となるか不明な場合は、
検案または診断した獣医師に確認するか、
家畜保健衛生所まで御連絡ください。

お知らせ

県北家畜保冷保管施設は修繕のため、平成31年3月14日～17日まで、
死亡牛の受入れを休止します。
久慈地域の牛飼養者・関係者の方は、ご注意ください。

定期報告書の提出をお願いします

家畜の所有者は、『飼養衛生管理基準の遵守』・『定期の報告』（定期報告書の提出）が義務となっています。様式の中にある、飼養衛生管理基準のチェック項目は家畜を伝染病から守るカギとなります。定期報告を機に、日頃の飼養管理を見直してみましょう。

提出先は、家畜保健衛生所、市町村・農協の畜産担当窓口です。このうち、家畜保健衛生所はFAX・郵送での提出も可能です。御不明な点は、当所までお問い合わせください（連絡先は本紙巻末に記載してあります）。

皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

	提出期限
家畜（牛、豚、馬など）	4月15日
家さん（鶏、きじなど）	6月15日



※飼養等羽数・飼養目的に関わらず提出が必要です。複数種類の家畜・家さんを飼養している方は、それぞれ提出が必要です。御注意ください。

母国語とイラストで確実に伝えよう。岩手の畜産を守るために！

(農場管理者のための家畜の飼養衛生管理基準遵守事項多言語リーフレットの作成)

県北地域には大規模な畜産農場が多く、酪農・養豚・養鶏の13農場が外国人技能実習制度を活用し、アジア地域から研修生を受け入れています。

今後も諸外国からの人材受入は増える状況にあり、その役割は大きくなる傾向にあります。一方で、畜産現場には今後も高いレベルの衛生対策が求められます。

そこで、管理者が飼養衛生管理遵守項目をわかりやすく確実に伝達するためのコミュニケーションツールとして、農場管理者のための家畜衛生遵守事項多言語リーフレットを作成しました。

ポイント：①管理者が伝えたい内容は事前に調査、②イラストで伝えたい内容をイメージで標記（職員オリジナル）、③管内で研修する研修生の母国語（ベトナム語、タガログ語、インドネシア語）で記載しました。当所のホームページからダウンロードできますのでご活用ください。



埋却作業の具体を議論！

鳥インフルエンザ発生時に埋却作業を担う二戸地方支部の埋却・消毒班（二戸土木センター）と防疫班（県北家保）は、岩手県建設業協会二戸支部組合員を対象に、平成31年1月25日、検討会を開催しました。オペレーター等として出動が想定される組合員30名が出席し、主要埋却地の現状を踏まえて想定される死体・汚染物の埋却について活発な議論が交わされました。



次頁に続く

防疫班から埋却計画をスライドで説明

参加した組合員は緊急の作業に理解を示す一方、土地条件、時間的制約、危険と隣り合わせの作業などに戸惑いを訴える声も多くあり、「来年は現地実動で掘削をやってみたい、やってみないと判らない」、という意見で最後はまとめ、検討会は終了しました。オペレーターの不安解消と確実な埋却へ向けた候補地の絞り込み等の取組みが今後のテーマとして共有されました。



オペレーター作業予定者の防護衣の着脱

岩手県北家畜衛生協議会からのお知らせ！！

4月1日から独自事業の対象ワクチンの一部が変わります。

・クロストリジウム五種混合ワクチン（変更）

クロストリジウム五種混合ワクチンは、同三種混合ワクチンの製造終了に伴い、代替ワクチンが五種混合になるためです。

【ワクチンの特徴】

従来の三種混合ワクチンに2種類の原因菌（クロストリジウム・パーフリンゲンス、同ソルデリー）の予防が追加されました。

・ティーエスブイ2ワクチン（追加）

管内の講師の呼吸器病による病傷事故率は、県内で最も高く（23.8%、県平均より7ポイント高い）、子牛の損耗を防止し、経営の安定化を図る必要があるためです。

【ワクチンの特徴】

牛の鼻の中にワクチンを投与するため、接種方法が容易です。投与2日後には、免疫物資が放出され、即効的かつ非特異的に防御します。

○4月・5月は、アカバネ病ワクチンの接種時期です。
適期のワクチン接種で流産・死産などの異常産を防ぎましょう。

・具体的なワクチン接種方法等については、かかりつけの獣医師に御相談ください。